

芸術文化振興基金創設 20 周年を迎えて

独立行政法人日本芸術文化振興会
理事長 茂木 賢三郎

日本芸術文化振興会は、我が国の文化の重要な拠点として、歌舞伎、文楽、能楽などの伝統芸能の保存と振興を図ること、オペラ、バレエなどの現代舞台芸術の普及と振興を図ること、そして、芸術文化活動に対する援助を行うことを使命としております。

このたび、芸術文化振興基金は創設20周年を迎えることとなりました。芸術文化振興基金は、平成2年、芸術文化活動の重要性にご理解のある多くの皆様からの100億円以上のご寄付と、政府からの出資500億円により創設されました。皆様方からのご厚志があったからこそ、当基金の設立ができたものと心から感謝申し上げます。

基金の創設により、安定的、継続的な芸術文化活動への助成が可能となりました。以降、平成21年度までの助成実績は、活動件数で概ね1万5千件、助成金額は約353億円にのぼります。これもひとえに皆様方のおかげと存じ、重ねて御礼申し上げます。

現在、大変厳しい経済情勢にはございますが、平成22年度におきましても、16億円の助成を予定しております。日本芸術文化振興会といたしましては、引き続き助成活動の充実を図ってまいります。また、芸術文化振興基金の役割や必要性・重要性について広報・周知に努めるとともに、広く企業や一般の方々のご寄付を求め、基金の拡充を図っていく所存でございます。

今後とも、皆様の一層のご支援とご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。